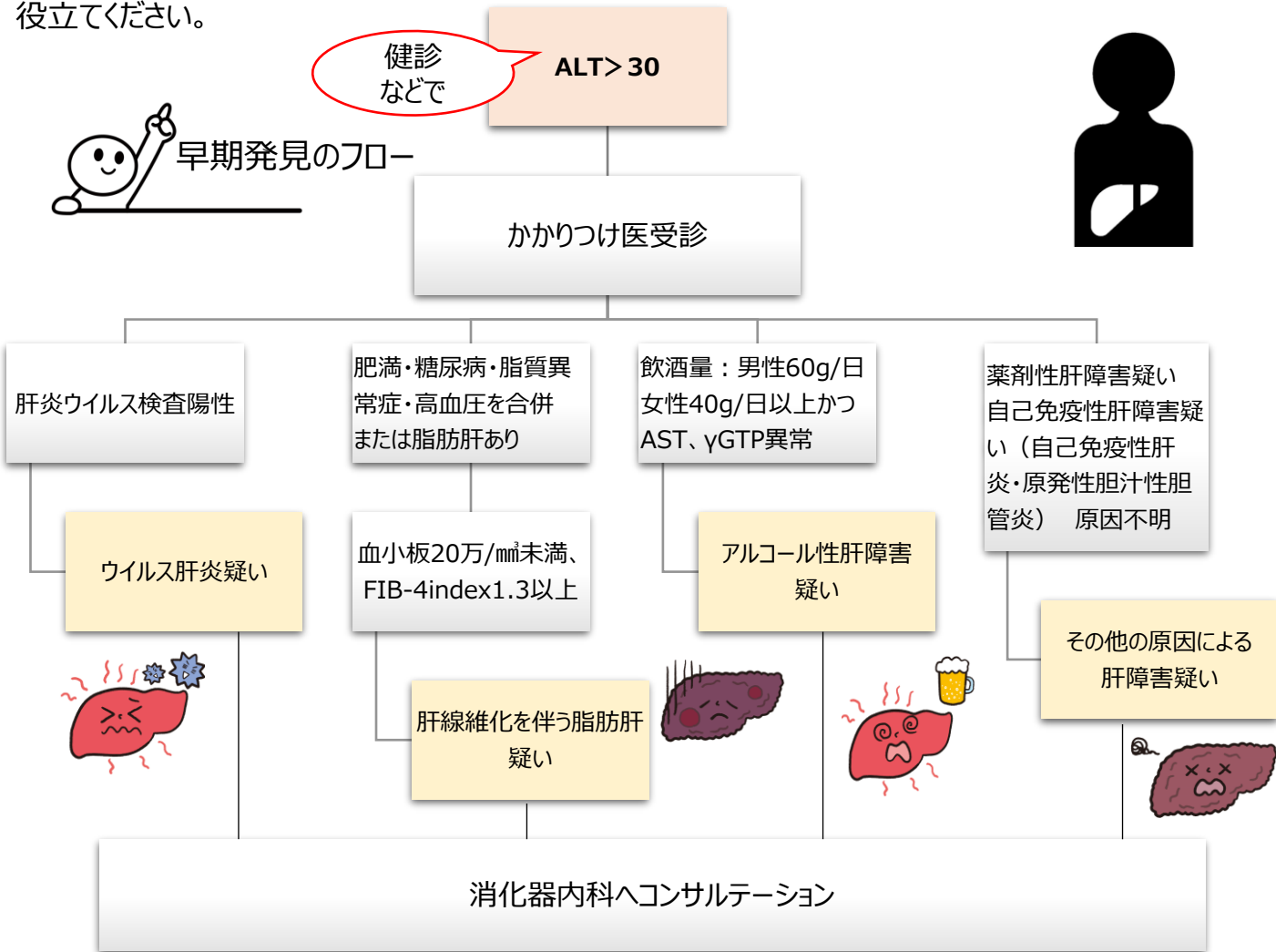




慢性肝疾患 (CLD) の早期発見・治療につなげる

近年、抗ウイルス剤の進展により、ウイルス性肝炎は減少してきているが、脂肪性肝疾患は増加し続けている。肝臓は沈黙の臓器と言われ、自覚症状に乏しく肝硬変などになってしまっていて気づくことが多い。そうなる前に早期発見・早期治療へつなげるため日本肝臓学会から受診の目安となる検査の数値 (ALT > 30) が発表されました (第59回日本肝臓学会奈良宣言)

また、脂肪性肝疾患の日本語病名が日本消化器学会と日本肝臓学会より決定されました。フローチャートや肝疾患の新しい名称、肝線維化の検査について記載しておりますので今後の診療にお役立てください。



肝線維化を見逃さないために

NAFLD (MASLD) の予後に最も寄与する因子は「肝線維化」です

肝線維化評価のゴールドスタンダードは肝生検である

検査を行うにはリスクが高いため非侵襲的検査が必要

血液検査やエコー検査を定期的に行い高度肝線維化例を見逃さないことが大事



肝線維化の主な血液検査

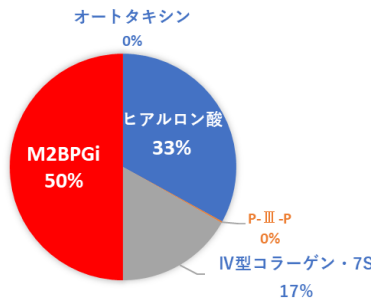


コード 検査項目	保険点数	検査意義
1310 血小板	21 (血)	肝機能が低下すると、肝臓に流入する門脈の圧力が上昇し、上流の脾臓が大きくなり脾臓内で血小板が破壊されるので、血小板数が減少する。
1598 ヒアルロン酸	179 (生I)	肝臓の線維化が進むと肝臓内の伊東細胞、線維芽細胞などのヒアルロン酸産生が亢進する。また、ヒアルロン酸を分解する肝類洞内皮細胞は線維化に伴いその機能を失い、ヒアルロン酸の血中の濃度が増加する。特にアルコール性肝硬変で高値となりまた、関節炎などでも上昇する。
1823 IV型コラーゲン・7S	148 (生I)	肝臓の血管や胆管を構成する主要なタンパク質で、肝臓の損傷に応じて産生され、修復に寄与する。血中濃度の上昇は、肝線維化の進行を示します。IV型コラーゲン7Sは、IV型コラーゲンの亜種であり、その血中濃度の上昇も肝線維化の指標とされます。
1801 PⅢNP (プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド)	136 (生I)	コラーゲンの合成過程における前駆体のプロコラーゲンは細胞外に分泌され、両末端のペプチドがプロコラーゲンペプチターゼにより特異的に切断されコラーゲンとなる。P-Ⅲ-Pは、切断されたⅢ型プロコラーゲンのN末端側のペプチドである。測定することで肝内の線維化の程度、特に線維化進展の活動性がわかる。
2606 FIB- 4 index		AST・ALT・血小板数・年齢の4項目を組み合わせることで計算し、値で線維化の進展度合いを評価する。高齢者や健常者で非飲酒者・脂肪肝なしの人は高めにできる傾向がある。
2500 M2BPGi (Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体)	194 (生I)	肝線維化の進行に伴い糖鎖構造が変化することに着目したマーカー。高感度かつ特異的な検査で、肝線維化のステージの上昇に伴い有意に高値になり、発癌も予測可能。
2601 オートタキシン	194 (生I)	リン脂質代謝の酵素のひとつ。線維化などが原因で血液の中に多く残るようになるため、肝線維化の初期段階から病態が把握でき、肝線維化ステージを反映することができる。また、線維化の早期段階から血液中濃度が上昇するため、従来のマーカーより線維化早期で高い鑑別能を有する。

* ヒアルロン酸、IV型コラーゲン、PⅢP、M2BPGi、オートタキシンを併せて実施した場合は主たるもののみ算定

肝線維マーカーの利用割合

2024年1月～9月の出検状況



M2BPGiが一番利用されています



脂肪性疾患の日本語病名に関して

2024年8月22日 一般社団法人日本肝臓学会

「NAFLD、NASH」は「MASLD、MASH」へ

non-alcoholic fatty liver disease (NAFLD) 非アルコール性脂肪性肝疾患

Metabolic Dysfunction Associated Steatotic Liver Disease (MASLD) 代謝機能障害関連脂肪性肝疾患

non-alcoholic steatohepatitis (NASH) 非アルコール性脂肪肝炎

Metabolic Dysfunction Associated Steatohepatitis (MASH) 代謝機能障害関連脂肪肝炎

MetALD (代謝機能障害アルコール関連疾患)

飲酒量がALD (アルコール関連肝疾患) とNAFLDの間で心血管イベントのリスク因子基準を満たす場合

Cryptogenic Steatotic Liver Disease (成因不明脂肪性肝疾患)

NAFLDで心血管イベントのリスク因子基準を満たさない場合

Specific Aetiology Steatotic Liver Disease (特定成因脂肪性肝疾患)

薬物性やウィルソン病などに起因する場合